

V88a **ALMA 観測準備ソフトウェアの開発**

谷田貝 宇、小杉 城治、奥村 幸子、森田 耕一郎( 国立天文台 )、Alan Bridger ( UK Astronomy Technology Centre )

ALMA 観測準備ソフトウェア ( ALMA ObservingTool、略称 ALMA OT ) の開発について報告する。

ALMA OT は ALMA Computing IPT(Integrated Product Team) が開発する ALMA Computing システム内の1サブシステムである Observation Preparation Subsystem(通称 OBSPREP) の中心となるソフトウェアである。ALMA OT を含む OBSPREP サブシステムは、ALMA Computing IPT の他のサブシステムと同様に日米欧協力体制のもと、Alan Bridger をリーダーとして UK ATC ( 英国 Edinburgh ) および ESO ( ドイツ Garching ) を中心に開発が進められている。日本からは谷田貝が Edinburgh に約4年間滞在し開発作業に参加してきた。

ALMA を用いて観測を行いたいユーザは OT を必ず利用することになる。観測プロポーザルの作成・提出、およびプロポーザルが承認された後の詳細な観測プログラムの作成はこの OT を用いて行う。ALMA は、電波天文観測に多くの経験を持つ研究者のみならず、天文学の他の分野の研究者、さらには例えば宇宙生物学者でも利用できるようにしようという方針があり、OT はそういったいずれの利用者でも使えるものでなければならない。

OT は Java 言語で開発されており、Linux, Windows, Macintosh のいずれでも利用可能である。また、Web 上に用意された最新版のツールをブラウザからの1クリックで自動的にダウンロードし起動できる。

本報告では、ALMA OT の機能概要を紹介するとともに、約1年後に迫った Early Science フェーズへの Call For Proposal、さらにはその後の Full Operation に向けての開発の予定についても触れる。